

区分：人文・社会科学

授業科目名	人間と文化（生命倫理学）				学期	曜日	校時
英語名	Humanity and Culture（Bioethics）						
担当 教官名	篠原 駿一郎	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	水曜日 校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>新世紀は生命科学発展の世紀になるでしょう。遺伝・発生・免疫などの生命現象の解明は医学・医療の分野にも応用され大きな福音となる可能性があります。しかしながら、同時に、この科学がもたらす社会的文化的影響、あるいは私たち一人一人の人生に与える影響も無視することができません。これは生命倫理学（バイオエシックス）と呼ばれる学問の課題ですが、授業ではこの学問が提示するさまざまな倫理的問題を考えていきたいと思ます。</p>							
テキスト、教材等							
篠原駿一郎・波多江忠彦編著「生と死の倫理学」（ナカニシヤ出版）							
対象学生	成績評価の方法				教官研究室		
全学部	授業への参加の状態および試験（あるいはレポート）によって評価する。						
授 業 計 画							
<p>1~3回 生命倫理学とは何か、なぜそういう学問が必要かを学ぶ 4~8回 生命倫理を考えていくために必要な諸概念を具体的なケースを通して学ぶ 9~15回 生殖医療・臓器移植・安楽死・死の定義などをさらに深く検討する</p>							